



【 2014 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 参戦結果のご報告 】 第 2 ライダー 中井直道

大会名称：2014 FIM 世界耐久選手権シリーズ第 2 戦 " コカ・コーラ ゼロ " 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 37 回大会

チーム名：全国 Honda DREAM 会 中部ブロックレーシングチーム (All JAPAN Honda DREAM CENTRAL BL RT)

ゼッケン：9 / クラス：SST / マシン：HONDA CBR1000RR SP / タイヤ：ブリヂストン

監督：酒匂好規 ((株) ホンダドリーム中部代表)

ライダー：鈴木慎吾 (第 1 ライダー)、中井直道 (第 2 ライダー)、高橋孝臣 (第 3 ライダー)

総合順位：30 位 (6:57' 12.071)

クラス順位：1 位 (SST) / 完走率：82% (58/70)

今回当チームとしては、ホンダ販売店を展開する中部ドリーム店を中心に他ドリーム店と共同にて参戦致しました。エントリーカテゴリーを SST クラスにすることにより、ホンダの商品である「CBR1000RR SP」をよりアピールし、よりお客様に近い状態のマシンでの参戦が目的でした。また、ピット作業を行なうメカニックは、ドリーム店の整備士であり 8 耐を経験することで整備技術とお客様へのサービス向上が目的です。成績としての目標は、ノーマルの CBR1000RR で 8 耐を走ることが大きな目的でまずは完走。そして、SST クラスで 1 位を狙うことです。



【 予選 】

SST クラスにエントリーして当チームは、完全ノーマル車としての参戦が目的。SST レギュレーションに合わせ、改造範囲が限られており、しかも当マシンは外装(カウリング)もノーマルの ABS 樹脂をそのまま使用。その他、サスペンションやホイール等足回りもノーマルなため、車重は重く操安性も不利だが STD でどこまで行けるかにチャレンジ。そして、今年より公式予選は各ライダー 1 回のみタイムアタックとなり予選結果は以下。



- 第 1 ライダーの鈴木慎吾が、2 分 16 秒 318
- 第 2 ライダーの中井直道は、2 分 17 秒 230
- 第 3 ライダーの高橋孝臣は、2 分 19 秒 506 (S 字コーナーで転倒)

第 3 ライダーの高橋が S 字で転倒するが、スリップダウンのため、ライダー、マシンのダメージは少なかった。





【 2014 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 参戦結果のご報告 】 第 2 ライダー 中井直道

大会名称：2014 FIM 世界耐久選手権シリーズ第 2 戦 " コカ・コーラ ゼロ " 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 37 回大会

チーム名：全国 Honda DREAM 会 中部ブロックレーシングチーム (All JAPAN Honda DREAM CENTRAL BL RT)

ゼッケン：9 / クラス：SST / マシン：HONDA CBR1000RR SP / タイヤ：ブリヂストン

監督：酒匂好規 ((株) ホンダドリーム中部代表)

ライダー：鈴木慎吾 (第 1 ライダー)、中井直道 (第 2 ライダー)、高橋孝臣 (第 3 ライダー)

総合順位：30 位 (6:57' 12.071)

クラス順位：1 位 (SST) / 完走率：82% (58/70)

今回当チームとしては、ホンダ販売店を展開する中部ドリーム店を中心に他ドリーム店と共同にて参戦致しました。エントリーカテゴリーを SST クラスにすることにより、ホンダの商品である「CBR1000RR SP」をよりアピールし、よりお客様に近い状態のマシンでの参戦が目的でした。また、ピット作業を行なうメカニックは、ドリーム店の整備士であり 8 耐を経験することで整備技術とお客様へのサービス向上が目的です。成績としての目標は、ノーマルの CBR1000RR で 8 耐を走ることが大きな目的でまずは完走。そして、SST クラスで 1 位を狙うことです。



【 予選 】

SST クラスにエントリーして当チームは、完全ノーマル車としての参戦が目的。SST レギュレーションに合わせ、改造範囲が限られており、しかも当マシンは外装(カウリング)もノーマルの ABS 樹脂をそのまま使用。その他、サスペンションやホイール等足回りもノーマルなため、車重は重く操安性も不利だが STD でどこまで行けるかにチャレンジ。そして、今年より公式予選は各ライダー 1 回のみタイムアタックとなり予選結果は以下。



- 第 1 ライダーの鈴木慎吾が、2 分 16 秒 318
- 第 2 ライダーの中井直道は、2 分 17 秒 230
- 第 3 ライダーの高橋孝臣は、2 分 19 秒 506 (S 字コーナーで転倒)

第 3 ライダーの高橋が S 字で転倒するが、スリップダウンのため、ライダー、マシンのダメージは少なかった。





【 2014 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 参戦結果のご報告 】 第 2 ライダー 中井直道

大会名称：2014 FIM 世界耐久選手権シリーズ第 2 戦 " コカ・コーラ ゼロ " 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 37 回大会

チーム名：全国 Honda DREAM 会 中部ブロックレーシングチーム (All JAPAN Honda DREAM CENTRAL BL RT)

ゼッケン：9 / クラス：SST / マシン：HONDA CBR1000RR SP / タイヤ：ブリヂストン

監督：酒匂好規 ((株) ホンダドリーム中部代表)

ライダー：鈴木慎吾 (第 1 ライダー)、中井直道 (第 2 ライダー)、高橋孝臣 (第 3 ライダー)

総合順位：30 位 (6:57' 12.071)

クラス順位：1 位 (SST) / 完走率：82% (58/70)

今回当チームとしては、ホンダ販売店を展開する中部ドリーム店を中心に他ドリーム店と共同にて参戦致しました。エントリーカテゴリーを SST クラスにすることにより、ホンダの商品である「CBR1000RR SP」をよりアピールし、よりお客様に近い状態のマシンでの参戦が目的でした。また、ピット作業を行なうメカニックは、ドリーム店の整備士であり 8 耐を経験することで整備技術とお客様へのサービス向上が目的です。成績としての目標は、ノーマルの CBR1000RR で 8 耐を走ることが大きな目的でまずは完走。そして、SST クラスで 1 位を狙うことです。



【 予選 】

SST クラスにエントリーして当チームは、完全ノーマル車としての参戦が目的。SST レギュレーションに合わせ、改造範囲が限られており、しかも当マシンは外装(カウリング)もノーマルの ABS 樹脂をそのまま使用。その他、サスペンションやホイール等足回りもノーマルなため、車重は重く操安性も不利だが STD でどこまで行けるかにチャレンジ。そして、今年より公式予選は各ライダー 1 回のみタイムアタックとなり予選結果は以下。



- 第 1 ライダーの鈴木慎吾が、2 分 16 秒 318
- 第 2 ライダーの中井直道は、2 分 17 秒 230
- 第 3 ライダーの高橋孝臣は、2 分 19 秒 506 (S 字コーナーで転倒)

第 3 ライダーの高橋が S 字で転倒するが、スリップダウンのため、ライダー、マシンのダメージは少なかった。

